２０２３年度

「認定こども園ポプラの木」園の自己評価

2024年2月29日

学校法人聖和学園　認定こども園ポプラの木

園長　岡部道子

　コロナウィルス症が５類の扱いとなったが、感染拡大予防の視点からの行事の在り方の工夫を
引き続き行う2023年度であった。認定こども園ポプラの木に移行して１４年目を迎え、
「同僚性を発揮して、一つ上のステップへ」という2014年度から継続しているコンセプトを
今年度も掲げて過ごした。

年度当初に掲げたのは以下の目標である。

〇経験年数の少ない保育者が多い集団となることから、昨年同様丁寧に言葉や行動で伝えていきたい

〇キリスト教保育を基本に「子どもも大人も、一人ひとりが招かれ集められている大切な存在である」ことを原点に、子どもの命を預かる恐れとともに、子どもの育ちにかかわれる喜びを感じる大切な業務であることを伝えていく。

〇研修の充実…Zoom等を活用しての園外研修（キャリアパス研修等）参加。園内研修は、主幹を中心に中堅も研修を担当する。また、勤務時間内での時間を確保する。

〇環境整備・修繕…テラス修繕、劣化による電化製品の交換など

〇小学校との連携事業の推進…公開保育実施、教育長訪問

〇丁寧な特別支援…発達面で心配のある子どもの保護者面談を中心に療育機関につなげる

〇食育活動の充実…各クラスの年間計画に基づいた活動（魚の三枚おろし、農短大との交流）

〇子育ての支援活動の充実…有資格者担当による年齢別活動の充実。こども食堂、病児・病後児保育への模索

　年度末にあたり、１．保護者による利用者アンケート　２．スタッフによる自己評価に加え
　３．人権擁護のためのセルフチェックを実施し、2023年度を総括するとともに2024年度に向けた課題について
　「園の自己評価」を行った。

総括（２０２３年度評価および２０２４年度への展望）

①2023年11月、矢吹町に「不適切保育・職員のパワハラ」についての投書があり、県（矢吹町立ち合い）によるヒアリングが行われた。12月18日に県より、2点について指摘された。 〇特定職員による不適切な保育が認められたため、改善を図ること 〇職場内での自由な意見交換の欠如、コミュニケーションの希薄化の改善。 早急にマニュアルなどの整備を行い、保護者説明会、臨時理事会、スタッフへの説明会などを開催した。人権擁護のためのセルフチャックを実施し、自分の保育を振り返る時を持った。今後は、「アサーティブコミュケーション」などの園内研修を実施し、コミュニケーション（職員間・子どもや保護者との関わり方）の在り方を学園全体で、今一度学んでいく。実施したセルフチェック及びスタッフの自己評価の集計結果では、設問の意味のとらえ方が個々により異なっていることがわかる結果であったが、コメント欄への記載内容には、それぞれに自分への課題に目を向けている様子が伺われる。 ②主幹保育教諭を中心にした園内研修（経験年数に合わせた研修）を昨年以上に充実して行うことができた。学園全体の取り組みとしてポプラの木・野のはなの合同で研修を行うなど情報共有ができた。 ③保育内容では、保護者参加の活動について、４，５歳児の保育参加や保護者交流会などを開催することができた。次年度も基本的には同じ形での開催を予定している。 ④今年度も食育活動をさらに充実させることができた。コロナで休止していた「さんまの３枚おろし」も、今年度は地域の料理屋の店長に指導していただいて再開できた他、野菜の苗植えや収穫、クッキングなど日常的に行うことを通して、健康な生活に興味を持ち、さまざまな食材を喜んで食べる姿につながっている。 ⑤今年度の利用者ｱﾝｹｰﾄも、ネットで回答する形とした。回答率は80％であった。自由コメント欄では、担任をはじめ園の保育について信頼していただいていることがわかる内容が多かった。今回の不適切保育についても、「不安はあるが、こどもは担任の先生を信頼している」とのコメントや「ポプラの木でよかった」との意見に励まされて次年度を過ごしたい。頂いた意見・要望についてはスタッフ全員で共有し改善していく。 ⑥聖和学園の取り組みである子育て支援活動について、こども食堂及びマタニティ広場を継続して開催することができた。さらに、乳幼児だけでなく小・中学生を対象にした子どもたちの居場所づくりとして、「ポプラカフェ」を開催できた。 ⑦学園の取り組みとして、児童発達支援事業所（通所施設）開設にむけた、取り組み（新規建築）を進めている。

1）保護者利用者アンケート結果

２０２３年度　園利用者アンケート集計結果

認定こども園ポプラの木

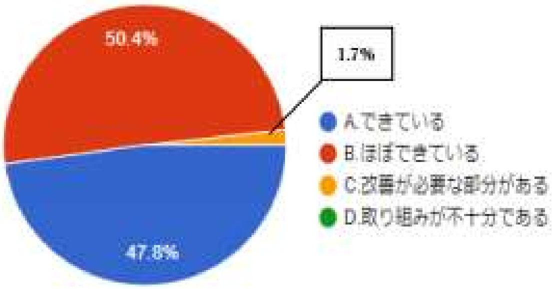
2024 年 2 月 9 日

在籍数　143 名、回答者数　114 名　回答率 80%

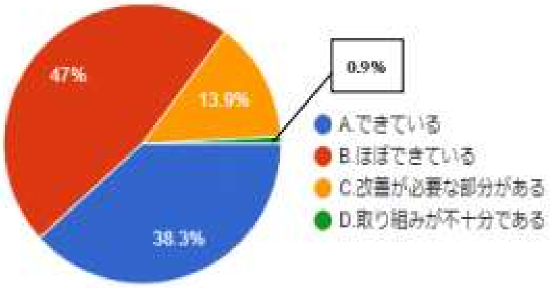
	てんし	ことり	わかば低	わかば高	ゆり	そら	はと	あい
在籍数（143 名）	9	12	17	20	15	15	27	28
回答数（114 名）	7	11	14	18	10	8	22	24
回答率（80%）	77%	92%	82%	90%	67%	53%	81%	86%

1.当園は、保育理念・保育目標・保育方針についてわかりやすく伝えている

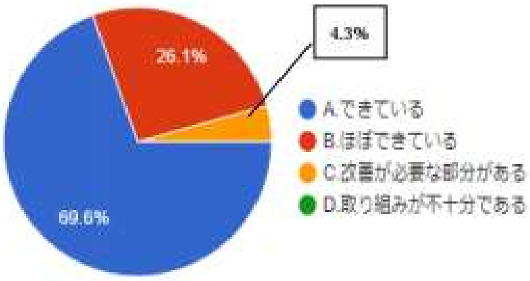
２.当園は、毎月の園だよりで月ごとの主題・ねらいを伝えそれに沿った保育を展開しようと努力している



３.園は、配布物及びホームページなどにより、情報や保育の様子をわかりやすく伝えている



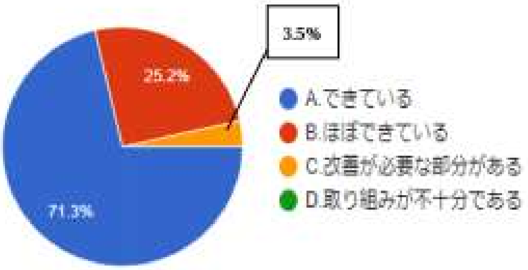
４.お子さんは園生活を楽しんでいる



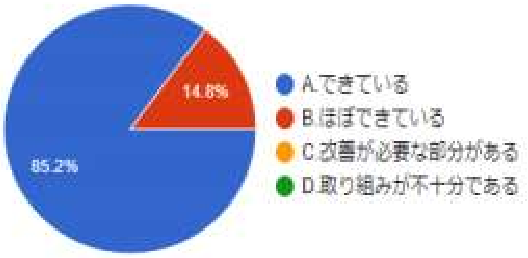
５.お子さんにとって園は、安心できる場所である

６.お子さんは保育者を信頼し、一緒にいることで安定を得ている

7.園の行事は、お子さんの成長を支え発達を促すよい機会となっている

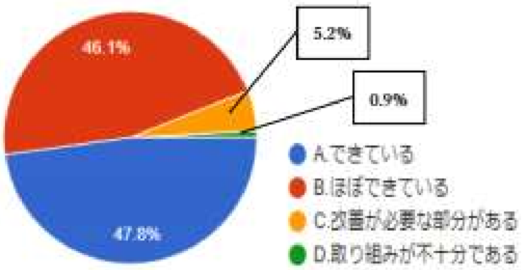


8.給食は、お子さんの栄養を配慮し、バランスのとれた献立となっている

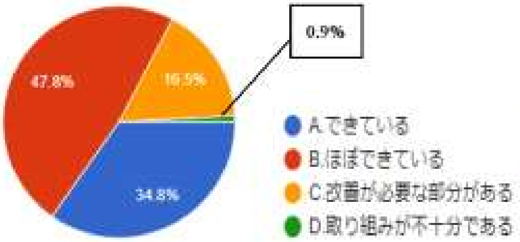


9.園はお子さんの健康・発育状況について保護者との連携を図っていますか

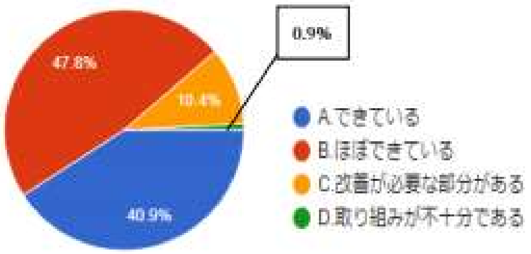
１０.園は各家庭の思いに寄り添う努力をしていますか



１１.園はパパの会・ママの会といった「かぞくの会活動」を通して、園と保護者及び保護者間の交流を図ろうとしていますか



１２.相談や質問・疑問に対する、園の対応は丁寧ですか



沢山のコメントをいただく。

大変な状況にあっても、いつも子ども中心にできることを考えてくださり、本当に感謝しております。 コロナ禍も経験しましたが、在園中にこんなにたくさんの経験をさせていただけたことに感謝の気持ちでいっぱいです。 先生方が、我々保護者に対してもいつも明るく接してくださり、子どもの様子や成長を担任の先生はもちろん他の先生からも聞くことができ安心して預けさせていただけたこと感謝の気持ちでいっぱいです。 子どもの心に寄り添う保育は、家庭でも夫婦でいつも参考にさせていております。今後体制は大きく変わるのでしょうが、これからもこれまでの方針や挑戦する気持ちを大切にしていただければ幸いです。 先生方が新しいことに挑戦していく背中を子どもたちが間近で見れたことは、子どもたちの10年後20年後を考えたときに、絶対に生きてくることだと思います。矢吹町にとって必要な園です。これからもポプラの木らしさを期待しております。

2）スタッフによる自己評価集計　　　　　回答者２９名　※産・育休中、病休者者除く

下表の回答を選択する設問とは別に、年度当初に、個別に自分の1年のねらいを記入し、1月にそのねらいについて自由記載で評価を記入するスタッフ自己評価を実施。内容をもとに、自分の保育を今一度振り返る時をすごす。

※無回答欄は、担当外の項目

全スタッフ対象　（29名）

(1)職務を遂行する上での資質・能力・適正・良識　（全員）	A	B	C	D	無回答	総合
①　経験年数に応じた技術を持ち、ふさわしいスキルを身につけている	5	19	5	0	0	B
②　チームとして日々の業務を仲間と連携して行っている（報告・連絡・相談）	9	17	3	0	0	
③　当番や役割による仕事を理解し、丁寧・確実に行っている	14	14	1	0	0	
④　服装・髪型・身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全面について気をつけている	21	8	0	0	0	
⑤　子どもと言葉を交わす時はあたたかく美しい言葉や、日頃なじんでいる言葉を使っている	16	11	2	0	0	
⑥　園の消耗品や教材など節約して使用し、私用には使っていない。購入品については上司の許可を得ている	24	5	0	0	0	
⑦　記録物などの提出、期限のある仕事などの日程や時間を守っている。	10	18	1	0	0	
⑧　就業規則など諸規則を理解し、守り、業務遂行にあたって正確・迅速・丁寧を実践している	13	16	0	0	0	
設問数８　合計	112	108	12	0	0	

保育担当者（23名）

項目	A	B	C	D	無回答	総合
(2)保育の基本と目標	A	B	C	D	無回答	総合
設問数４　合計	26	53	9	0	4	B
(3)保育内容、子どもへの対応	A	B	C	D	無回答	総合
設問数18　合計	205	157	24	5	23	B
（4）保護者への対応・守秘義務	A	B	C	D	無回答	総合
設問数４　合計	55	19	7	0	11	A
（5）地域・社会とのかかわり	A	B	C	D	無回答	総合
設問数３　合計	24	21	11	4	9	B
（6）研修と研究	A	B	C	D	無回答	総合
設問数３　合計	28	22	9	2	8	B
（7）保育の計画性（担任のみ回答）	A	B	C	D	無回答	総合
設問数５　合計	43	31	6	0	0	A
（8）常勤フリー・補助保育教諭の役割（フリー・補助保育者のみ回答）	A	B	C	D	無回答	総合
設問数３　合計	10	9	0	0	2	A

給食担当者（5名）

項目	A	B	C	D	無回答	総合
（2）園の保育理念・保育方針の理解と給食担当者の役割	A	B	C	D	無回答	総合
設問数４　合計	16	4	0	0	0	B
（3）食事	A	B	C	D	無回答	総合
設問数４　合計	12	5	3	0	0	B
（4）調理・提供・衛生管理	A	B	C	D	無回答	総合
設問数18　合計	84	6	0	0	0	A
（5）保育者との連携・守秘義務	A	B	C	D	無回答	総合
設問数４　合計	14	6	0	0	0	B
（6）給食従事者としての心得	A	B	C	D	無回答	総合
設問数３　合計	15	0	0	0	0	A
（7）栄養士の役割（栄養士のみ回答）	A	B	C	D	無回答	総合
設問数４　合計	4	0	0	0	0	A

事務担当者（1）

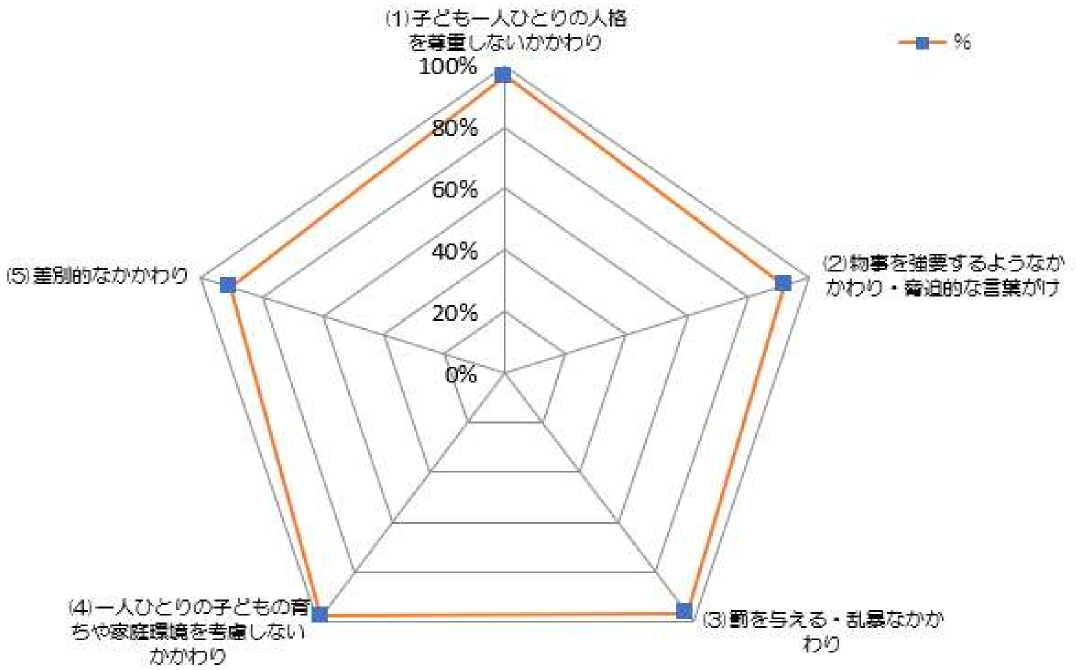
項目	A	B	C	D	無回答	総合
（2）園の保育理念・保育方針の理解	A	B	C	D	無回答	総合
設問数４　合計	2	2	0	0	0	A
（3-1）事務業務（初任者～）	A	B	C	D	無回答	総合
設問数10　合計	4	6	0	0	0	A
（3-2）事務業務（3年目～）	A	B	C	D	無回答	総合
設問数7　合計	0	6	0	0	0	A
（3-3）事務業務（6年目～）	A	B	C	D	無回答	総合
設問数7　合計	0	0	0	0	0	

3）人権擁護のためのセルフチェック結果

　保育施設における「不適切な保育」による事故や虐待などが報じられる中、当学園では今一度、人権擁護の観点からそれぞれの保育の振り返りの時を持つために、全国保育士会作成の「人権擁護のためのセルフチェック」を実施した。

以下の項目について不適切な行為を「していない」「している（したことがある）」で回答。
（１）子ども一人ひとりの人格を尊重しないかかわりについて・・・１０設問
（２）物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉がけ・・・・・・５設問
（３）罰を与える・乱暴なかかわり・・・・・・・・・・・・・・・・・５設問
（４）一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり・・４設問
（５）差別的なかかわり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５設問

していないにチェックした数 回答者数23名	(1)子ども一人ひとりの人格を尊重しないかかわり	(2)物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉がけ	(3)罰を与える・乱暴なかかわり	(4)一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり	(5)差別的なかかわり
平均値	9.7	4.6	4.8	3.9	4.5
設問数	10	5	5	4	5
%	97%	92%	97%	98%	90%



100％に近いほど、不適切な関わりをしていないということを示しています。